

アニマルランド NEWS

わんぱーくこうちアニマルランド
№103 Apr 2023

わんぱーくこうちアニマルランド
30周年

- ・ 2023年 / えと展 「ぴょんぴょんもこもこうさぎ年」
- ・ 「飼育係」になるにはどうすればいいの！？ーアニマルランド編ー
- ・ 「動物園水族館大学に参加しました！」

10/1～ ふれあい広場開始
 10/6 ライオン「サン」死亡
 10/9 移動動物園開催
 10/19 慰霊祭
 10/26 ニホンカモシカ「コウ」搬出
 10/31～ 高病原性鳥インフルエンザ感染対策のため
 コールダックの展示中止
 11/4～ 高病原性鳥インフルエンザ感染対策のため
 バードハウス閉鎖
 11/27 第21回いきもの講座開催
 12/15～1/31 えと展「ぴょんぴょんもこもこうさぎ年」開催
 12/16 干支引継ぎ式開催
 12/22 ニホンカモシカ「ナツ」死亡
 12/25 クリスマスマつり中止
 1/21・1/22 ゆきまつり開催
 2/2 動物紹介「知ってる?! ウサギ」開始
 2/2 サーバル「シャア」死亡
 3/2 グラントシマウマ「キキ」死亡

10月から3月

ニホンカモシカ(コウ)搬出



長野県飯田市立動物園に移動しました。

移動動物園



エンリッチメント大賞



足摺海洋館「SATOUMI」との交流イベント。
 モルモット、カイウサギ、ボールニシキヘビ、
 アカアシガメ、ヒョウモンガメが出張しました。

「クロシロエリマキツネザルの闘争緩和作戦」
 の取り組みが一次審査を通過し、ポスター発表
 しました。

干支引継ぎ式



いきもの講座



「卯」代表は桂浜水族館の目の赤いアカメ、
 「寅」のお使いをアニマルランドのウサギが
 つとめました。

四国自然史科学研究センターの
 山田孝樹氏から、ツキノワグマについて
 詳しく話を聞くことができました。

のできごと

ありし日の動物たち



ライオン(サン)



ニホンカモシカ(ナツ)

アニマルランドに貢献してくれてありがとう。



サーバル(シャア)



グラントシマウマ(キキ)

ゆきまつり



久しぶりのゆきまつりとなりました。
多くの子供たちが楽しそうに雪で
遊んでいました。

アニマルランド30周年



2023年4月でアニマルランド開園30周年を迎えます。
これからもよろしくお願いします。

えと展 ぴよんぴよん もこもこ うさぎ年



令和5年の干支は「卯」ウサギです。年末年始は毎年恒例の「えと展」を開催し盛況のうちに終わることができました。

わんぱくこうちアニマルランドでは、2種類のウサギを飼育しています。日本の野山にいる、野生動物の「ニホンノウサギ」とペットとしても飼われる家畜の「カイウサギ」です。私たち動物園で働くものは、野生動物とペットや家畜を分けて考えることが多いです。飼育方法やつきあい方がちがうためです。

野生ウサギの仲間は、ウサギ目に分類され北極とオーストラリアをのぞく世界中に約200種類生息しています。いちばん大きな特徴は大きな耳です。以前はげっ歯目（ネズミの仲間）と同じ分類とされていましたが、げっ歯目の門歯が4本に対してウサギ目の門歯は6本のため分けられました。ウサギの仲間は上あごの2本の門歯の裏に、小さな門歯が2本あります。日本には「エゾユキウサギ」「エゾナキウサギ」「アマミノクロウサギ」「ニホンノウサギ」の4種の野生ウサギが住んでいます。この中で高知県に生息しているのはニホンノウサギです。

家畜やペットとして飼われているカイウサギは、ヨーロッパや北アフリカに生息していた「アナウサギ」を、2000年ほど前に家畜化したものです。始めは肉用にされていたようです。もともと住んでいた地域では数がへり、絶滅危惧種となっていました。反対に、オーストラリアや東ヨーロッパでは、ヒトが持ちこみ移入種となっています。特にオーストラリアでは爆発的にふえ、環境や在来種への脅威となっています。IUCN（国際自然保護連合）はアナウサギを「世界の侵略的外来種ワースト100」に選んでいます。野生動物の種類を「種」というのに対し、人が改良して作りあげた家畜の種類のことを「品種」といいます。カイウサギの品種は150種類ほどあります。

アニマルランドで飼育しているニホンノウサギのポポは、交通事故にあい骨折していたところを保護されました。脚に障がいが残ったため、飼育動物となりました。ふつうノウサギは、とても臆病で人がふれることは難しい動物です。ポポは獣医師に大切に治療されたため、抱っこして爪切りもさ

させてくれます。

ウサギ年に向けて4年ぶりにウサギを繁殖させました。父はソロ、母はミカンの間に2羽の仔ウサギが育ちました。毛色から黒い方をカシス（クロスグリの別名）茶色い方をフィグ（イチジク）と名付けました。2羽ともメスです。

ミカンは、まだ1歳にもならない若いお母さんですが、落ち着いて大切に子育てをしました。野生のアナウサギは深い穴を掘って、そこで子育てをします。アナウサギから家畜化されたカイウサギも暗くて静かな環境で子育てをします。環境があわないと育児放棄を

日本に住んでいる野生のウサギ

4種類が生息しています

エゾナキウサギ

分布: 北海道の中央から東部

体の特徴: 体重は60-150g、体長は10-20cm、尾長は1cm程度

生態: 標高800m以上の山間部に生息。集団で巣穴で生活する。名前の通りかん高い「キィ」や「ピー」といった鳴き声を出す。



エゾユキウサギ

分布: 北海道

体の特徴: 体重は1.6-4kg、体長は50-60cm、尾長は5-8cm 夏毛は褐色 冬毛は白色

生態: 平野から山間部に生息。主に夜行性。根雪に穴を掘り下草を食べる。



アマミノクロウサギ

分布: 奄美大島と徳之島

体の特徴: 体重は1.3-2.7kg、体長は41-51cm、尾長は1.1-3cm

生態: 原始的な形態を残している。1-2mの巣穴を掘り生活する。授乳の時にだけ巣穴に入り、授乳が終わると入り口の穴をふさぐ。IUCNのレッドリストで絶滅危惧種に指定。



ニホンノウサギ

分布: 本州、四国、九州、諸島

体の特徴: 体重は1.3-2.5kg、体長は45-54cm、尾長は2-5cm 北方の亜種は夏毛は褐色 冬毛は白色 キュウシュウノウサギは年中褐色。

生態: 草原や森林に生息。単独で生活する。



することもあるため、記録の写真撮影も慎重におこないました。ミカンは気にする様子もなく立派なお母さんぶりでした。

子どもたちが生後1ヵ月になると、ケージに入れてふれあい広場にデビューしました。ミカン^{きょうみんしん}はケージのまわりからはなれず、見張っていました。生後2ヵ月になりケージから出すと、子どもたちは興味津々にうごきまわり、ミカンは心配そうについて回っていました。生後3ヵ月になった今では、ミカンとほとんど同じ大きさになり、ふれあい広場の人気者になっています。

アニマルランドではノウサギとカイウサギの両方を見ることができます。この機会に、両方をくらべてみてください。なにか発見があればうれしいです。

(久川智恵美)

迷子ではありません



このノウサギの赤ちゃんは、迷子と間違えて保護されました。

ノウサギの赤ちゃんは親のミニチュアで生まれてきます。目はあいて毛もはえています。ノウサギは子どもを草むらなどにかくし、授乳するときだけそこへ行きます。そんな、かくれているノウサギの子を迷子^{きょうみんしん}と思い保護されることがあります。これを誤認保護^{きょうみんしん}や善意の誘拐^{きょうみんしん}といいます。

写真のようなノウサギを発見しても、そのままにしておいてください。迷子ではありません。

みんなの友達 カイウサギ

150種ほどの品種が、世界中で飼育されています



レッキス

フランス起源。密度の濃い縮れた毛が特徴。小型のミニレッキスが人気。



ネザーランドドワーフ

オランダ起源。短い耳と小さな体の特徴。体重は1, 2kg以下。



アンゴラ

トルコ産。長い被毛が特徴。毛織物に利用される。



ロップイヤー

スペイン産。大きく垂れ下がった耳が特徴。長毛タイプや小型のタイプなど品種改良が進んでいる。



フレミッシュジャイアント

ベルギー産。大型種で10kgを超えるものもいる。



(写真は種不明 日本白色種と同タイプ)

日本白色種

色素欠乏症のウサギを固定化した。毛と肉の兼用種。日本で作られた品種で白い毛と赤い目のウサギのイメージはこの品種からといわれている。

カシスとフィグの成長記録

生後1日齢



母親は胸の毛をぬいて、ふかふかのベッドを作る。赤ちゃんは目も耳も完成していない。

生後5日齢



短い毛が生えてきたところ。まだ目も耳もあいていない。

生後12日齢



目はうつすらあき、耳も立ちはじめた。

生後16日齢



目がしっかりあいた。母乳のほかに、野菜や青草を食べはじめる。

生後31日齢



耳がしっかり立った。ふれあい広場にデビューしたところ。



生後3ヵ月

左からカシス、フィグ、ミカン。仲良し親子。

「飼育係」になるには



どうすればいいの！？

—アニマルランド編—

テレビ番組やYouTubeなどで動物たちのおもしろ動画などを目にする機会があり、近年、動物たちに注目が集まっています。アニマルランドへ「動物大好きです。どうすれば動物園で働けますか！？飼育係になれるですか！？」といった問い合わせがよくあるので、今回はその疑問についてわかりやすくお答えします。

★その1、アニマルランドの職員になるには！？

高知市役所の職員であり、公務員です。そのため高知市職員採用資格試験を受けなければなりません。まず、高知市役所のホームページ等にて、「高知市職員採用情報」→「高知市職員採用資格試験」のリンクを選択してください。各窓口センターでも情報が公開されています。

飼育係の採用区分は^{ろうむしよく}労務職（清掃等）になります。

★その2、試験内容は！？

●1次試験筆記：教養試験・適性検査→2次試験：論文・適性検査・体力測定・面接

地方公務員試験の「地方初級」試験問題となります。難易度は高卒程度の学力とよく言われますが、現況は大学生も受験することもあります。そのためしっかりと基本の知識を学習しておく必要がありますね！

★その3、合格しても…！？

みごと、採用試験に合格しても、必ずしもアニマルランド（動物園）で働けるとは言えません。なぜならアニマルランド（動物園）における飼育業務のほかに、^{さいじよう}ごみ収集作業、清掃工場、斎場等施設での作業、高知市立小中学校の学校用務などの^{げんぎようしよくば}高知市現業職場があります。

そのため、各職場の欠員状況により配属先が決まります。どうしても動物園職場を希望される場合は採用面接試験時や異動希望の意思表示をしっかりと人事課へ伝えていきましょう。

★その4、「飼育係になる」夢をかなえるためには！

専門性が問われる職種ですが、まずは体力！健全な生活リズムを日常から身につけ、自らを管理することからはじめましょう。これができる方なら、動物たちを幸せにできるはずです。

あいさつは基本中の基本です。普段日常から何事にもめんどくささらず丁寧にやることです。勉強も遊びも一生懸命やってください。ぜひ一緒に動物園で働きましょう！頑張ってください。（吉川貴臣）



アフリカコガタワニの健康診断



カブトムシすもう大会



「動物園水族館大学に参加しました！」

2023年3月12日に京都市でひらかれた第4回動物園水族館大学シンポジウムに参加し、ポスター発表をしました。今回のテーマは「動物園・水族館が挑む保全活動」でした。このシンポジウムは、京都大学野生動物研究センターと動物園・水族館が協力し、自分たちの飼育スキルをあげ、動物たちが健康でしあわせにくらしつづけることを目指すものです。

動物園・水族館には「種の保存」「環境教育」「調査研究」「レクリエーション」という4つの役割があると言われています。その中でも動物園は「種の保存」、とくに絶滅してしまうかもしれない野生動物をまもる大切な場所なのです。しかし、その役割があまり知られていないのが現状です。

アニマルランドでは、20年以上にわたり絶滅危惧種であるトサシミズサンショウウオの保全活動をおこなっています。トサシミズサンショウウオは高知県土佐清水市のせまい地域にのみくらす、体長12cmほどのサンショウウオのなかまです。生息地の自然産卵場は、標高350mの丘にあり、毎年水が少なく卵がうめない状態でした。そこで、2001年から安定して産卵できるように、人工池を生息域内のあちこちにつくり始めました。2017年までに12個の人工池をつくり、月に一度産卵と成育の状況を調査に行きます。また、現地のトサシミズサンショウウオが絶滅したときにそなえて、2004年からアニマルランド園内でも飼育をはじめました。2011年からは飼育下でうまれた卵から育てることに成功し、現在では200匹以上をスタッフ全員で管理しています。

これらの活動は今回のテーマにちょうど当てはまり、よい経験になるということで私が発表することになりました。私は飼育員として働き始めてまだ2年。いざ発表するとなるととても緊張しましたが、ポスターの前で説明をしていると参加者が熱心に聞いてくれて、スムーズに話すことができました。そして、多くの人が「いい活動ですね！これからも頑張ってください！」と反応してくれ、活動の大切さを改めて感じました。今後、私たちが手を加えなくても安定して生息できる環境づくりを目指し、保全活動を続けていきたいです。また、より多くの人にこの希少なトサシミズサンショウウオについて知ってもらえるよう、発信していきたいです。

京都市でおこなわれたこともあり、帰りには京都市動物園を見学してきました。一番印象に残っていることは、やはりゴリラの家族を見られたことでしょうか。近くで見ると、どの動物よりも威圧感があり、迫力がありました。アニマルランドで見られるチンパンジーよりはるかに大きいです。京都市動物園は日本の動物園でゴリラを見ることができる数少ない園の一つです。みなさんも京都に行く機会がありましたらぜひ立ち寄ってみてください。かなりおすすめです！

(伊藤秀都)



ポスター発表の様子





桜が開花しだした3月下旬
ジャガー展示場前でキャッチ☆

左から

塩屋 しんぺい 春平くん(6さい)
みはる
美春さん

東京都からのご来園です。
春平くんはジャガー、美春さんはシマウマ
がお気に入り。ふれあい広場のカイウサギ
にさわり、「ツルツルしていた！」と教えて
くれました。
全国の動物園のコンプリートをめざして
いるそうです。

4月から9月のイベントとお知らせ

開催中～4月2日(日)
わんぱーくこうちまつり

4月2日(日)
アニマルランドクイズ大会

4月29日(土)
カブトムシの飼い方教室

5月3日(水)、8月9日(水)
臨時開園

5月8日(月)
振替休園

7月20日(木)～9月5日(火)
夏の企画展

9月7日(木)
動物紹介 開始

9月18日(月)
敬老の日イベント

日・祝 14:30～
ワンポイントガイド
動物の解説を飼育スタッフがおこないます

サマースクール、移動水族館、移動動物園は開催予定です。
日程は決定次第、ホームページ、Twitter、園内掲示などで
お知らせします。

ふれあい広場開放時間

新型コロナウイルス感染症の状況により、閉鎖して
いる場合があります。

2021年4月1日から以下の時間に変更しています。

・10:30～12:00
・13:00～14:30

※ 7月～9月は、動物が暑さで弱ってしまうため
お休みしています

表紙「カイウサギ」

2023年4月1日発行

発行・わんぱーくこうちアニマルランド
〒781-8010 高知市棧橋通6-9-1

TEL088-832-0189 FAX088-834-0929

Eメール kc-171204@city.kochi.lg.jp

編集 山本将充 久川智恵美

<http://www.city.kochi.kochi.jp/deeps/17/1712/animal/>
アニマルランドニュース 4,10月の年2回発行
ホームページでも配信中

わんぱーくこうちアニマルランド

検索